

ベナンバックス注用 300mg

【この薬は？】

販売名	ベナンバックス注用 300mg Benambax for Injection
一般名	ペンタミジンイセチオン酸塩 Pentamidine Isetionate
含有量 (1 バイアル中)	300mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、カリニ肺炎[※]治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、カリニ肺炎[※]の原因となるニューモシスチス・カリニ^{※※}のグルコース代謝および蛋白質合成を抑制することなどにより、増殖を阻害します。
- ・次の目的で処方されます。

〈適応症〉

カリニ肺炎[※]

〈適応菌種〉

ニューモシスチス・カリニ^{※※}

※現在は、ニューモシスチス肺炎と呼ばれています。

※※現在は、ニューモシスチス・イロベチーと呼ばれています。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- この薬により、重篤な低血圧（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失）、低血糖（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下）および不整脈（めまい、動悸（どうき）、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、ただちに医師に連絡してください。
- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にベナンボックス注用に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・ザルシタビンを使用中の入
 - ・ホスカルネットナトリウムを使用中の入
 - ・アミオダロン（注射剤）を使用中の入
- 重い呼吸の障害がある人では、この薬の吸入は行いません。
- 次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。
 - ・低血圧や高血圧の人
 - ・低血糖や高血糖の人
 - ・白血球減少、血小板減少、貧血の人
 - ・低カルシウム血症の人
 - ・冠疾患の人、過去に心室性不整脈になったことがある人、低カリウム血症の人、低マグネシウム血症の人、徐脈の人
 - ・腎臓に障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人
 - ・妊婦または妊娠している可能性のある人
 - ・授乳中の人
- この薬には併用してはいけない薬〔ザルシタビン（ハイビッド）、ホスカルネットナトリウム（ホスカビル）、アミオダロン（アンカロン）（注射剤）〕や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- この薬の使用前に、血液検査、肝機能検査、腎機能検査、心電図検査などの検査が行われます。

【この薬の使い方は？】

この薬は注射または吸入により投与されます。

●使用量および回数

使用量、使用回数、使用方法などは、あなたの年齢や症状などにあわせて、医師が決め、医療機関において投与されます。

通常、使用量および回数は次のとおりです。

一回量	〔注射の場合〕 体重 1kg あたり、ペンタミジンイセチオン酸塩として 4mg
	〔吸入の場合〕 ペンタミジンイセチオン酸塩として 300～600mg
使用回数	1 日 1 回

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬の使用後や使用後も、血液検査、肝機能検査、腎機能検査、心電図検査などの検査が行われます。
- ・この薬の使用時や使用期間中は重い低血圧（脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失）がおこることがあるので、これらの症状があらわれたらただちに受診してください。定期的に血圧の測定が行われます。
- ・この薬の使用期間中や使用終了後も、重い低血糖（お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下）、高血糖（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）、糖尿病（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える）がおこることがあるので、これらの症状があらわれたらただちに受診してください。血糖値の測定が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
Stevens-Johnson 症候群（皮膚粘膜眼症候群） スティーブンス・ジョンソン しょうこうぐん（ひふねんまくがんしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
錯乱 さくらん	注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
幻覚 げんかく	実際には存在しないものを存在するかのようを感じる
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
低血圧 ていけつあつ	脱力感、めまい、ふらつき、立ちくらみ、意識の消失
QT 延長 キューティーえんちょう	めまい、動悸、気を失う
心室性不整脈 しんしつせいふせいみやく	めまい、動悸、胸の不快感、気を失う

重大な副作用	主な自覚症状
高度徐脈 こうどじょみやく	めまい、意識の低下、意識の消失、息切れ、脈が遅くなる、脈がとぶ、気を失う
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
高血糖 こうけつとう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
糖尿病 とうようびょう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
膵炎 すいえん	強い腹痛、背中の痛み、お腹が張る、吐き気、嘔吐（おうと）、体重が減る、喉が渇く、尿量が増える、皮膚が黄色くなる、油っぽい下痢が出る

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、脱力感、ふらつき、発熱、疲れやすい、けいれん、体がだるい、体重が減る、むくみ
頭部	めまい、意識の消失、立ちくらみ、気を失う、意識の低下、実際には存在しないものを存在するかのようを感じる、注意力が散漫になる、問いかけに間違った答えをする、行動にまとまりがない
顔面	顔面蒼白、血の気が引く
眼	目の充血やただれ
口や喉	唇や口内のただれ、喉のかゆみ、喉が渇く、水を多く飲む、吐き気、嘔吐
胸部	動悸、息切れ、胸の不快感、息苦しい
腹部	お腹がすく、強い腹痛、お腹が張る
背中	背中の痛み
手・足	手足が冷たくなる、脈が遅くなる、脈がとぶ、手足のふるえ
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる
便	油っぽい下痢が出る
尿	尿量が増える、尿量が減る

【この薬の形は？】

性状・剤形	白色の塊または粉末（注射剤）	
形状		

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ペンタミジンイセチオン酸塩
------	---------------

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：サノフィ株式会社 (<https://www.sanofi.co.jp>)

コールセンター くすり相談室

フリーダイヤル 0120-109-905

月～金 9：00～17：00（祝日・会社休日を除く）